4 不登校「未然防止・児童生徒支援」アクションプラン

1. 津久見市の不登校の現状

不登校児童生徒数・出現率の推移

		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30 (1学期末)	
		人数	出 現 率	人数	出現率	人数	出現率	人数	出現率	人数	出現率	人数	出現率	人数	出現率
小当	大分県	190	0.31%	226	0.37%	274	0.46%	308	0.52%	282	0.48%	368	0.61%	207	0.24%
学校	津久見市	1	0.12%	1	0.12%	2	0.25%	2	0.25%	2	0.25%	1	0.14%	1	0.15%
中	大分県	999	3.16%	1013	3.27%	957	3.13%	865	2.89%	932	3.12%	987	3.26%	676	2.25%
学校	津久見市	17	3.55%	21	4.65%	23	5.83%	12	3.07%	6	1.46%	6	1.51%	0	0.00%

2. 「未然防止」取組の推進

すべての児童生徒が安心して日々の学校生活を送ることができるようにすることが、不登校未然防止につながる第一歩です。一人一人が「居場所」を実感でき、仲間とつながる絆を感じ合うことがきる集団づくり、魅力ある学校づくりを行うことは、不登校未然防止の根幹です。

- (1)「絆」と「居場所」を意識した「魅力ある学校づくり・学級づくり」の推進
- (2)「新大分スタンダード」に基づく、生徒指導の3機能を意識した授業改善
- (3) 校内不登校対策委員会の活性化 ☞ 校内教育相談コーディネーターの活用
- (4)「つくみっ子あったかハート1・2・3」の取組
- 1. 欠席 1 日目:電話連絡(担任による状況確認・励まし等) ※仲間たちの日課連絡・メッセージ・訪問等
- 2. 欠席2日以上連続: 家庭訪問(担任による状況確認・励まし等)
- 3. 欠席3日以上連続:家庭訪問(子どもの思いへの寄り添い・励まし・不安の解消等)、組織対応開始

3.「初期対応」取組の推進

日頃から、児童生徒の様子や言動、その変化などに細かく気を配り、未然防止や早期発見の観点から 予兆やサインを見逃さないよう高くアンテナを保ち、情報交換による情報の共有を図りながら、関係機関 とも連携した組織的な取組を推進していくことが重要です。

- (1) 早期発見
- ○「複数の目でしっかりチェック」(チェックシート等の活用)
- (2)早期対応
- ○「つくみっ子あったかハート1・2・3」の徹底

津久見市「欠席日数による不登校初期対応フロー」 【初期対応準備】

学年始 休業

前年度までの欠席・遅刻・早退等の状況把握(校内引き継ぎシート・小中連絡会記録)

「不登校相当」・「準不登校」の判断・情報共有(表1を基準に)

「不登校経験あり」群・「不登校経験なし」群の分類(表2を基準に)

表 1:「不登校」・「不登校傾向」の基準

±	区分	各学年の状況				
表 1	「不登校相当」	欠席日数+保健室等登校日数+(遅刻早退日数÷2)=30日以上				
1	「準不登校」	欠席日数+保健室等登校日数+(遅刻早退日数÷2)=15日以上30日未満				

表2:欠席状況の分類とその基準

+	区分	前年度までの状況					
	「不登校経験	・前年度までに一度でも「※不登校」「不登校相当」に該当した者					
表。	あり」群	・複数年数「準不登校」に該当した者(1年生は単年)					
_	「不登校経験	・前年度までに「不登校相当」「準不登校」のいずれにも該当しなかった者					
	なし」群						

「※不登校」: 欠席日数30以上表1・表2は国立教育政策研究所作成基準による

対人関係への配慮(①学級編成の工夫②学級開きの工夫③関係機関等からの情報)

学年始

欠席 1日目 2日目 3日目 5日目 【初期対応開始】



欠席日数による対応(明らかな病気・けがを除く)

欠席日数	「不登校経験あり」群	「不登校経験なし」群			
1日目	家庭訪問	電話連絡			
2日目	•	家庭訪問			
3日目	校内支援チーム発足	•			
5日目及び断続的	. ↓	校内支援チーム発足 ◆			
な欠席が7日目	仲間たちの日課連絡訪問等	仲間たちの日課連絡訪問等			



組織的な対応

各校不登校対策委員会 (ケース会議:教育相談 C)

(SC - SSW 連携)



関係機関(ネロリ・児童相談所・社会福祉課・幹部交番等)

欠席 連続

7日目

欠席日数が連続7日(課業日のみ)になるなど長期に欠席が続いた場合【様式1】を市教委に 提出⇒【様式1】の情報を市教委・地域児童生徒支援 C・ネロリ・家庭児童相談員等で共有

4. 「学校復帰支援」・「自立支援」の取組の推進

- (1) 校内不登校対策委員会の取組 (チーム学校として組織的に対応)
 - 〇スクリーニング会議を定期的に開催。
 - ○ケース会議の開催。(早期発見・早期対応)
 - ○教育相談コーディネーターの活用
 - 〇児童生徒支援シートの活用 (フェイスシート・相談支援シート)
- (2) 地域児童生徒支援コーディネーターの活用 〇拠点校及び市内での活動の共通理解。
- (3) 適応指導教室「ネロリ」との連携
 - 〇子どもの大切な「居場所」として活用。
 - 〇自立支援の場として活用。
 - 〇子どもと保護者の相談できる場として。



- (4) 不登校を子どもの立場で理解する。
- (5) 関係諸機関と連携し、支援体制を構築する。

適応指導教室 ネロリ

活動内容

- 1 学校に行けない子どもへ活動の場を提供
 - ① 室内活動
 - ・学習や実習
 - ・ゲーム・スポーツ
 - ・絵画・造形・裁縫等
 - ② 室外活動
 - 図書館利用
 - · 学校訪問 (同伴登校)
 - 2 家庭訪問や学校訪問等の相談活動
 - · 訪問学習 · 訪問相談
 - 3 他の専門機関、相談機関と連携した支援
 - 4 電話相談、来室相談

5. 地域児童生徒支援コーディネーターの活用

- (1)拠点校での取組
 - ○教育相談体制の構築と運営 (課題と対策、具体的な対策計画の立案等)
 - 〇校内不登校対策委員会の実施 (対策委員会・ケース会議をコーディネイト)
 - 〇不登校対応に関する校内研修の実施(Q-U調査活用方法・仲間づくり・初期対応等)
 - ○学級担任との連携 (子どもの様子や困りの相談等)
 - ○登校支援・別室登校生の対応(朝の迎え・放課後対応・学習支援等)
 - ○家庭訪問と保護者との相談活動(児童生徒支援シートの作成)

(2) 津久見市全体での取組

- ○『気になるあの子の今日の様子』への出欠の記入と傾向の把握
- ○学校訪問(各校の教育相談コーディネーターへの支援・助言)
- 〇不登校生への家庭訪問(担任と密に連携をしながら)
- ○不登校生や別室登校生への学習支援ならびに保護者との相談活動
- 〇要保護児童対策地域協議会(実務者会議)への出席・関係機関との連携
- ○津久見市生徒指導連絡協議会における現状報告及び不登校対応の取組の報告
- 〇各校校内研修に参加(QーU調査活用方法の助言・仲間づくり等の研修への支援)
- 〇各種関係機関 (SSW・SC・ネロリ・社会福祉課・警察等) との連携、情報交換会への参加。
- 〇スクールカウンセラー連絡協議会への出席・連携
- 〇スクールソーシャルワーカーとの連携

★★・・・拠点校外で活動

	午 前	午 後
月	【拠点校】	★【学校訪問】情報交換·対応相談
	担当教科授業・登校支援・別室登校対応	【家庭訪問】市内各校
火	★【SSW·SC·社会福祉課との連携】	【拠点校】
	情報交換・具体的な対応計画	家庭訪問・別室登校対応・放課後学習支援
水	★【適応指導教室「ネロリ」での対応】	【校内研修】 (拠点校及び市内各校)
	★【学校訪問(情報交換)・家庭訪問】等	研修への参加・助言・資料提供・情報交換
	市内各校	
木	【拠点校】	【拠点校】
	担当教科授業・登校支援・別室登校対応	市内各校の家庭訪問・別室登校対応
金	【拠点校】	★【学校訪問】情報交換・対応相談
	担当教科授業・登校支援・別室登校対応	【家庭訪問】市内各校

※状況に応じて、活動日・活動内容の変更もあります。

その他のメルバー

【『気になるあの子の今日の様子』】

